

1. 会合概要

(1) 開催日時 2010 年 2 月 05 日 (金) 18:00 ~ 21:00

(2) 場所 東京都新宿区西新宿 1-24-1

エステック情報ビル 27 階 E 会議室 (J R 線 新宿駅)

(3) 今回の議長役 高橋 孝一 (株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント)

(4) 議事録作成者 吉田 勇気 (株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント)

(5) 今回の幹事 高橋 孝一 (株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント)

(6) 出席者 佐藤 稔 氏 (銀泉リスクソリューションズ 株式会社)

眞崎 達二郎 氏 (眞崎リスクマネジメント研究所)

望月 剛 氏 (セイコーエプソン株式会社)

高橋 孝一 (株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント)

吉田 勇気 (株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント)

(7) 欠席 伊藤 真道 氏 (レックスホールディングス)

大沢 幸雄 氏 (大成建設)

河合 毅 氏 (株式会社 パスコ)

木戸 秀明 氏 (株式会社 ネクサス)

國貞 至 氏 (株式会社 レスキューナウ)

古賀 順逸 氏 (株式会社 建設環境研究所)

田中 洋次 氏 (AIU 保険会社)

野口 能久 氏

水嶋 一成 氏 (ビジネス・コンティニュイティ・テクノロジー株式会社)

山本 欣弥 氏 (株式会社 イー・アール・エス)

ファイナンス研究会 計 15 名

(8) 主要な決定事項

地震や新型インフルエンザ等のリスク顕在化時に、企業サイドがどういった資金の調達を望むのかを検討していくことが決定。

2. 会合内容

(1) これまでの活動内容のまとめおよび今後の活動について

- 事業継続（BC）において、防災対策のための資金および復旧のための資金の調達は、必要不可欠なものとなる。そのため、ファイナンス研究会（旧ファイナンス分科会）では、これらの資金を調達するための手段（以下、資金調達手段）として、どのようなものがあり、どういった特徴があるのかについて調査研究を行ってきた。これまで実施してきた調査研究内容は以下のとおりである。
- 資金調達手段を、税制、基金、保険、共済、ART（CAT ボンド、保険デリバティブ等）の6つに分類し、各資金調達手段の実態について、文献調査、インターネット調査、金融機関へのヒアリング調査を実施した。（2006年度）
- 文献調査等に加え、金融機関（損害保険会社等）へアンケート調査を行い、各資金調達手段の支払実績等を調査した（2007年度）
- 過去に地震に被災した企業が、利用した金融機関や資金調達手段等の検討を行った。（2008年度）
- 2006年度および2007年度は、資金の提供主体サイドから様々な検討を実施してきたため、2008年度は、2008年度に引き続き、企業サイドから資金調達手段のあり方について検討を行う。

以上